

SAMSUNG TECHWIN

超高解像度のWDRカメラ

ユーザーマニュアル

SCB-5005



超高解像度のWDRカメラ ユーザーマニュアル

Copyright

©2014 Samsung Techwin Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

 は Samsung Techwin Co., Ltd. の商標登録されたロゴです。

この製品の名称は Samsung Techwin Co., Ltd. の登録商標です。

このマニュアルに記載のその他の商標はそれぞれの会社の登録商標です。

制約について

本取扱説明書に記述される取扱説明は著作権法で保護されています。

従って Samsung Techwin 社の了解なしに著作権法で許される範囲の複写を除き、取扱説明書の一部あるいは全部の複写及び複製は禁じられています。

免責事項について

Samsung Techwin は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

* 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

このカメラを操作する前に、カメラのモデルおよび供給電源方式が正しいことを確認してください。

このマニュアルの理解を助けるため、モデルの表記について説明します。

■ SCB-5005 SERIES

- NTSC モデル
SCB-5005N

- PAL モデル
SCB-5005P

■ モデルの表記

- SCB-5005X

└── 信号システム

- 信号システム

N → NTSC モデル

P → PAL モデル

概要



注意

感電の危険性あり
開けないでください



注意

感電のリスクを避けるため、カバー（または裏面）を取り外さないでください。指定部品以外は使用できません。修理については、資格のあるサービススタッフにお問い合わせください。



この記号は、本製品には感電する恐れのある高圧電流が存在することを示しています。



この記号は、本製品の操作およびメンテナンスに関する重要な付属説明書があることを示しています。

警告

- 火災や感電の恐れがあります。製品を雨や湿気に晒さないでください。
- 損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って床/壁にしっかりと取り付けてください。

警告

1. 必ず仕様書で指定されている標準アダプタのみを使用してください。他のアダプタを使用すると、火災、感電、製品の故障の原因になります。
2. 電源コードを誤って接続したり、バッテリーの取替えを誤ると爆発、火災、感電、製品の故障の原因になります。
3. 1つのアダプタに複数のカメラを接続しないでください。許容能力を超えると異常な発熱や火災の原因になります。
4. 電源コードを電源コンセントにしっかりと差し込んでください。接続が完全でないと火災の原因になることがあります。
5. メラを設置する際、安全にしっかりと固定してください。カメラの落下は人身傷害の原因になります。
6. カメラの上に伝導体(例: スクリュードライバ、硬貨、貴金属など) や水の入った容器を置かないでください。火災、感電、物体の落下に起因する人身傷害を招くことがあります。

4_ 概要

7. 本製品を湿気や埃、すすのある場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
8. 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。このような場合にはただちに電源をオフにして、サービスセンターにお問い合わせください。このような状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。
9. 本製品が正常に動作しない場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。本製品は絶対に分解または改造しないでください。(サムスン社は未許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません)
10. お手入れの際、製品のパーツに直接水を噴霧しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

注意

1. 製品に物を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。過度の振動や磁器妨害のある場所に近づけないでください。
2. 高温(55℃以上)、低温(-10℃以下)、高湿度の場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
3. 一度取り付けた製品を移動する場合には、電源がオフになっていることを確認してから移動あるいは設置し直してください。
4. 雷雨のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。この作業を怠ると製品の発火や損傷の原因になります。
5. K直射日光や放熱源に近づけないでください。火災の原因となります。
6. 通気性のいい場所に設置してください。
7. CMOSイメージセンサーに損傷を与える可能性があるので太陽のような極度に明るい物体にカメラを直接向けないようにしてください。
8. 機材に液体をこぼしたりかけたりせず、また瓶のように液体が入った物体を機材の上に載せたりしないでください。
9. 分離可能な電源プラグを利用し、いつでも利用できるように用意されています。
10. カメラを屋外で使用すると、屋内と屋外で温度差が生じるためカメラ内に結露が発生する可能性があります。このため、カメラは屋内に設置することをお勧めします。屋外で使用する場合は、ファンやヒーターを内蔵したカメラをご使用ください。

概要

FCC(連邦通信委員会) 声明

本製品はFCC規則第15章に適合しています。操作は以下の2つの条件を前提とします。

- 1) 本製品が有害な電波妨害を引き起こさないこと。
- 2) 本製品は不適切な操作に起因する電波妨害を含む如何なる電波妨害も受け入れなければならない。

注意

本製品は、FCC規則第15章に定められたクラスAデジタル装置に関する規制要件にもとづいて所定の試験が実施され、これに適合するものとして認定されています。これらの規制要件は装置が商用環境で使用される際に有害な電波妨害に対する適切な保護を提供するために考案されました。

T本製品は電磁波を発生し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従って設置、使用しないと無線通信の有害な電波妨害を引き起こす恐れがあります。住宅地域における本製品の使用によって有害な電波妨害を引き起こすことがあり、その場合ユーザーは自己負担で電波妨害の問題を解決しなければなりません。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んでください。
2. 本書の指示を守ってください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本製品を水のそばで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布のみを使用して行ってください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。メーカーの指示に従って取り付けてください。
8. ラジエータ、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプなど）などの熱源のそばに設置しないでください。
9. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
10. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。
11. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、カメラコントローラの電源プラグを抜いてください。
12. すべての修理は資格のあるサービススタッフに任せてください。電源コードまたはプラグが損傷した、装置内に液体がこぼれた、あるいは異物が混入した、製品を雨または湿気に曝した、正常に動作しない、あるいは落としたなど、装置になんらかの損傷を与えた場合は、修理を依頼してください。



Samsung Techwin社は、全ての製品に関して環境条件を考慮して製造し、多くのステップを経て、環境に優しい製品を供給しています。Ecoマークは環境に優しい製品を製造するSamsung Techwin社の意思を示すもので、EU RoHS指令に適合する製品であることを示します。

目次

はじめに

9

- 9 特徴
- 10 構成部品と付属品
- 11 名称と機能
- 14 レンズ

接続

16

- 16 モニターへの接続
- 16 電源への接続
- 17 RS-485インタフェースによる制御
- 18 同軸通信の使用

カメラ動作

19

- 19 メニュー設定
- 19 メニュー設定

トラブルシューティング

37

- 37 トラブルシューティング

仕様

38

- 38 仕様
- 40 寸法

はじめに

特徴

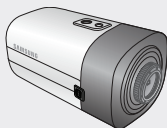
- 高解像度
1.4メガピクセルのCMOSデバイスを使用することにより、水平解像度1000本の鮮明な映像が提供されます。
- 高感度
内蔵の高感度COLOR CMOSにより、鮮明な映像を生み出します。
 - ー カラー : 0.03ルクス (F1.2, 50IRE), 0.001ルクス (1秒, F1.2, 50IRE)
0.01ルクス (F1.2, 30IRE), 0.0003ルクス (1秒, F1.2, 30IRE)
 - 白黒 : 0.003ルクス (F1.2, 50IRE), 0.0001ルクス (1秒, F1.2, 50IRE)
0.001ルクス (F1.2, 30IRE), 0.00003ルクス (1秒, F1.2, 30IRE)
- インテリジェンス
外部センサーがない場合、本製品を使えば、モーション検知を行い、アラーム音を発生させられるため、より効果的なモニタリングが実現できます。
- SSNR4 (Samsung Super Noise Reduction)
高性能なW7チップは、暗い光源でのゲインノイズと残像を効果的に解消して、暗い環境でも鮮明な画像を提供します。
- Day&Night
このカメラには、昼間または夜間の環境に適したモードを自動的に選択する機能があります。COLORモードは昼間の環境で動作して最適なカラーを提供し、B/Wモードでは、近赤外光にまで感度を広げて、高感度化を実現します。
- SDDR (Samsung Super Dynamic Range)
対象物の明るい部分と暗い部分のばらつきが大きい場合、明るい部分は明るいままにし、選択した暗い部分を明るくするため、全体的に明るくなるようにメンテナンスが可能です。
- プロフィール
カメラの設置条件に応じてモードを設定できます。
 - ベーシック, DAYNIGHT, 逆光補正, ITS, 室内, USER
- WDR (ワイドダイナミックレンジ)
このカメラは、独自のW7チップを採用し、露出を暗いエリアで大きくして明るいエリアで小さくすることで、逆光の場面でも鮮明で高品質の画像を提供します。詳細まで鮮明な修正された画像が提供されます

はじめに

- Pアイリス/DCドライブレンズサポート
メニューからPアイリスまたはDCドライブレンズを選択できます。
- DIS (デジタル手ブレ補正)
DIS機能は、カメラのあらゆる動きを補正し、安定した画像を提供します。
- SIMPLE FOCUS
SIMPLE FOCUSを利用すれば、FOCUSを簡単に調整できます。
- その他の機能
HLC (ハイライト補正)、REVERSE、D-ZOOM、SHARPNESSおよび PRIVACY機能が用意されています。
- 通信
同軸通信方式およびRS-485通信方式がサポートされています
- 同軸通信 : Pelco Coaxitron
- RS-485通信 : Samsung-T, Samsung-E, PELCO-D, PELCO-P, BOSCH, HONEYWELL, VICON, PANASONIC, GE, AD
- OSD
17の異なる外国語O.S.Dを使用することにより、カメラコントロールが容易になります。
- 英語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、韓国語、ドイツ語、イタリア語、中国語、ロシア語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、セルビア語、スウェーデン語、デンマーク語、トルコ語。

構成部品と付属品

製品パッケージに次のものが含まれていることを確認してください。



SCB-5005



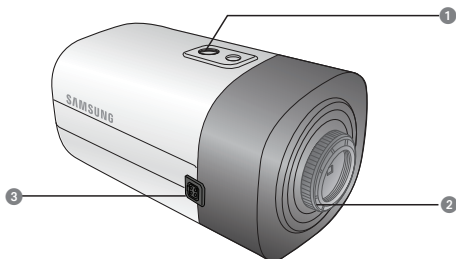
クイックマニュアル



Cマウント用アダプタ

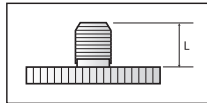
名称と機能

前面



① 三脚取付けブラケットのネジ穴：

- カメラをブラケットに固定するために使用します。この穴用のねじのサイズは以下の通りです。
1/44インチ-20 UNC (20 ネジ)
L:4.5mm±0.2mm (ISO 規格), または 0.197"
(ASA 規格)



② レンズアダプター： レンズを使用する場合にこれをインストールします。

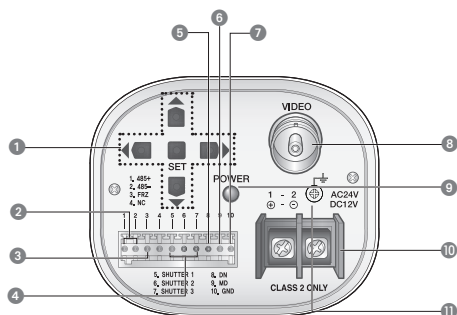
③ 自動絞りレンズ用コネクタ： 自動絞りレンズのプラグを接続するために使用します。



- オートシャッターアダプタと受け台はカメラに同梱されていません。カメラへの取付けについては、三脚取付用のマニュアルを確認してください。

はじめに

背面



① 機能設定ボタン

- SETボタン: (長く押す) シンプルフォーカスが作動します。
(短く押す) メニュー画面が表示されます。

画面にメニューを表示し、サブメニューにアクセスするために使用します。

- 上および下ボタン: メニュー画面でカーソルを上下に動かすために使用します。
- 左および右ボタン: メニュー画面でカーソルを左右に動かすために使用します。

② RS-485制御ポート: このポートを介し、RS-485通信がサポートされているリモコンなどの外部コントローラを使用して、SETUPメニューを制御することができます。

③ フリーズモード設定端子: この端末を利用すれば画像を停止できます。

④ シャッター速度選択端子: 外部からシャッタ速度を切り替えて使用する事ができます。

	SHUTTER 1	SHUTTER 2	SHUTTER 3
1/60(1/50)	オフ	オフ	オフ
1/120(1/100)	オン	オフ	オフ
1/250	オフ	オン	オフ
1/500	オン	オン	オフ
1/700	オフ	オフ	オン
1/1000	オン	オフ	オン
1/1600	オフ	オン	オン
1/2500	オン	オン	オン

[インタレースモード]

- ⑤ D & N入力ポート: 外部信号をこのポートに接続して、昼/夜モードを切り替えることができます。
- ⑥ モーション検知出力ポート: モーション検知信号は、このポートから出力されます。
- ⑦ GND
- ⑧ ビデオ出力端子: ビデオ信号を送信し、モニターのビデオ入力端子に接続します。
- ⑨ 電源LED: このランプは、カメラに電源が供給されているときに点灯します。
- ⑩ 電源入力端子: 電源ケーブルに接続します。
- ⑪ 接地端子

※外部入出力ポート設定

番号	名前	入出力の方向
1	RS-485+	I/O
2	RS-485-	I/O
3	Freeze	I
4	NC	-
5-7	Shutter	I
8	DN	I
9	MD	O
10	GND	-



- FREEZEモード設定端子、シャッター速度選択端子およびD & N入力ポートを使用する際、各端子と接地端子を接続してください。

はじめに

レンズ

レンズはこのカメラには同梱されていません。環境に適したレンズを購入してください。このカメラには、自動絞りレンズならびにCマウントおよびCSマウントレンズのいずれも取り付けすることができます。

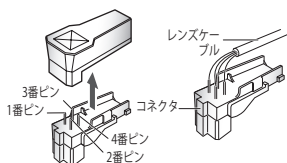


- 本製品の性能を最大限に利用するために、メガピクセル対応のDC/Pアイリス型自動アイリスレンズを利用してください。
- レンズの表面を清潔に保ってください。ほこりや指紋で汚れると、画質に影響します。

C/CSマウントレンズの使用時（別売）

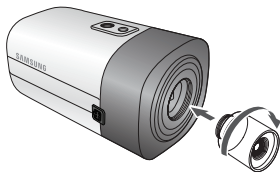
レンズを取り付ける前に、取り付けるレンズがCマウントかCSマウントかを識別します。このカメラはデフォルトではCSマウントレンズ用に設定されています。Cマウントレンズを取り付ける場合には、簡単な修正が必要です。

	LENS	
ピン番号	DCアイリス	Pアイリス
1	制動 -	B-
2	制動 +	A-
3	ドライブ +	A+
4	ドライブ -	B+



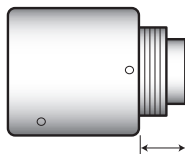
● CSマウントレンズの使用時

本製品の正面のCMOS保護キャップを取り外し、CSマウントレンズを時計回りに回して取り付けます。





- 次の図に示すレンズを使用します。
コネクタの寸法が正確でない場合、カメラが 損傷
するか、レンズがしっかり取り付けできない可能性
があります。
- レンズが重すぎる場合、カメラのバランスが悪くな
り、問題が起こる可能性があります。
450g未満のレンズを使用してください。

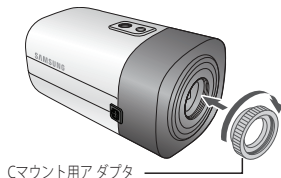


Cマウントレンズ: 10mm以下

Cマウントレンズ: 5mm以下

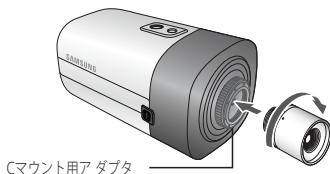
● Cマウントレンズの使用時

1. 本製品のCMOS保護キャップを取り外し、
Cマウント用アダプタを時計回りに回して取
り付けます。



Cマウント用アダプタ

2. Cマウントレンズを右回りに回
して取り 付けます。



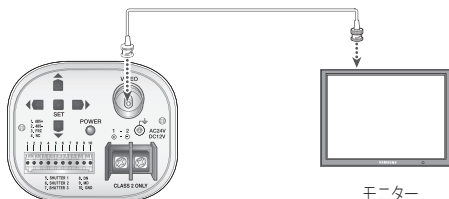
Cマウント用アダプタ

3. レンズを結合させた後で、焦点を調整します。

接続

モニターへの接続

カメラの背面パネルのビデオ出力ポートとモニターを接続します。



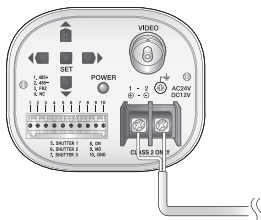
SCB-5005

- 接続方法については、機器によって異なるため、機器に同梱されているマニュアルを参照してください。
- 電源を切った後でのみケーブルを接続してください。

電源への接続

電源を接続する方法は次の図に示すとおりです。

本装置は、AC電源とDC電源のどちらでも使用できます。従って、AC 24V、500mAアダプタまたはDC 12V、500mAアダプタの何れかをご使用下さい。



銅線の抵抗値[20°C (68°F)]と電圧降下

銅線サイズ (AWG)	#24 (0.22mm ²)	#22 (0.33mm ²)	#20 (0.52mm ²)	#18 (0.83mm ²)
抵抗(Ω/m)	0.078	0.050	0.030	0.018
電圧降下 (V/m)	0.028	0.018	0.011	0.006

- 上記の表に示すように、ワイヤーが長くなるほど電圧は低下します。このため、カメラへの電源ケーブルを長くすると、カメラのパフォーマンスに影響する場合があります。

※ カメラ動作のための標準電圧: DC 12V±10%, AC 24V±10%

※ ワイヤーのタイプとメーカーによって、電圧降下に差異が生じることがあります。



- 必ずすべての取付けが完了した後でのみ、電源を接続してください。

RS-485インタフェースによる制御

このカメラは、リモコン(RS-485通信)などの外部コントローラを使用してOSDの設定ができます。

(1) PCで制御する場合

RS-485コンバータを介して、カメラのRS-485制御ポートとシリアルケーブルを接続します。

例) PCシリアルポート (COM1) → シリアルケーブル RS-485コンバータ → カメラのRS-485制御ポート

(2) DVRまたはシステムコントローラを使用して制御する場合

RS-485ケーブル (TRX+, TRX-) を、DVRまたはシステムコントローラに接続した485コントロールボードの接続ポートに接続します

485コントロールボードの接続ポート	RS-485制御ポート
(+) 接続端子 (TRX+)	485+
(-) 接続端子 (TRX-)	485-

* RS-485通信設定初期値

項目	カメラID	BAUD RATE	通信モード	データ受信
初期値	1	9600	8-NONE-1	使用



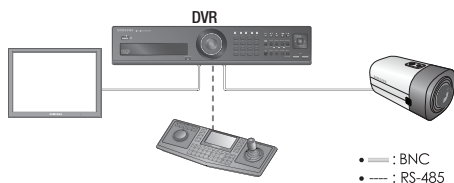
- 通信プロトコルはSAMSUNG-T、SAMSUNG-E、PELCO-D、PELCO-P、BOSCH、HO NEYWELL、VICON、PANASONIC、AD、およびGEが使用可能です。

接続

同軸通信の使用

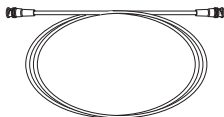
- 同軸通信システム
- OSDによる制御方法

カメラ	DVR	コントローラ
設定	MENU/ENTER	OSD KEY
上	上キー	ジョイスティック:上
下	下キー	ジョイスティック:下
左	左キー	ジョイスティック:左
右	右キー	ジョイスティック:右



- ビデオケーブル

カメラのビデオ出力端子は、必ず下記の様な同軸ケーブルを使用して配線してください。
1本の同軸ケーブルが下記の長さを超える場合は、補助ビデオアンプを使用してください。



距離	推奨ケーブル仕様
300m	3C2V(RG-59/U)
450m	5C2V(RG-6/U)
600m	7C2V(RG-11/U)



- 同軸ケーブルは、銅メッキの編組線ではなく、純銅の編組線製の物を使用してください。映像ノイズや通信などで不具合の原因となります。

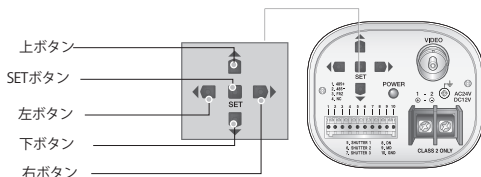
カメラ動作

メニュー設定

メイン設定			
プロフィール	● ベーシック ● ITS	● DAY/NIGHT ● 室内	● 逆光補正 ● USER
SSDR	● ON	● OFF	
WHITE バランス	● ATW ● MANUAL	● 室外 ● AWC → SET	● 室内 ● MERCURY
露出補正	● BRIGHTNESS ● AGC	● レンズ ● SSNR4	● SHUTTER ● 戻る
逆光補正	● OFF ● WDR	● USER BLC	● HLC
SIMPLE FOCUS	● SIMPLE FOCUS ● MANUAL	● フォーカス初期化 ● AFTER D/N	● 戻る
SPECIAL	● ディスプレイ ● DAY/NIGHT ● デジタル手ブレ補正	● 通信設定 ● DEFOG ● VIDEO ANALYTICS	● IMAGE 機能 ● PRIVACY ● 戻る
戻る	● 保存	● 保存なし	● リセット

メニュー設定

設定は、カメラの背面にある5つのボタンを使用して実施できます。



カメラ動作

機能設定ボタンを使用して機能を選択します。

メイン設定	
1. プロフィール	ベーシック
2. SSDR	ON $\leftarrow$
3. WHITE バランス	ATW
4. 露出補正 $\leftarrow$	
5. 逆光補正	OFF
6. SIMPLE FOCUS $\leftarrow$	
7. SPECIAL $\leftarrow$	
8. 戻る	保存

機能設定ボタンを使用してステータスを変更します。

1. SETボタンを押します。
 - MAIN SETUPメニューがモニター画面に表示されます。
2. 上下ボタンを使用して目的の機能を選択します。
 - 目的の項目の上にカーソルを置きます。
3. 左右ボタンを使用して、選択した項目を設定します。
4. 設定を終了するには、「EXIT」を選択してSETUPボタンを押します。



- $\leftarrow$ アイコンがある項目にはサブメニューもあります。サブメニューを選択するには、アイコンがある項目を選択し、SETボタンを押します。
- ---アイコンが表示された項目は、機能設定により使用不能です。

プロフィール

1. 設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使って<プロフィール>を選択し、矢印が<プロフィール>を指すようにします。
2. 希望の画像表示に従い、左右ボタンを使用して任意のモードを選択します。
 - ベーシック：最も一般的な環境に合うように設定されています。
 - DAY/NIGHT：自動的に設定され、昼間または夜間それぞれの状態を最適化します。
 - 逆光補正：自動的に設定され、逆光が強い場面でも背景と物体を識別できます。
 - ITS：自動的に設定されるため、トラフィック状態を簡単にチェックできます。
 - 室内：自動的に設定され、通常の屋内の照明下でも撮影が可能です。

メイン設定	
▶ 1. プロフィール	ベーシック
2. SSDR	ON $\leftarrow$
3. WHITE バランス	ATW
4. 露出補正 $\leftarrow$	
5. 逆光補正	OFF
6. SIMPLE FOCUS $\leftarrow$	
7. SPECIAL $\leftarrow$	
8. 戻る	保存

- USER: カスタム設定に合わせてカメラを自動的に設定します。
 - 1) 簡単設定モードでカスタム を選択します。
 - 2) カスタム設定に合わせてメニューオプションを設定します。
 - 3) 設定は自動的にカスタムモードとして保存されます。
 - 4) プロファイルのユーザー定義モードでは、メニューをリセットしたときに 初期化は行われません。

3. PROFILEメニューで、次のカメラ設定を一度に選択できます。

	ベーシック	DAY/NIGHT	逆光補正	ITS	室内	USER
SHUTTER	ATW	ATW	ATW	MANUAL(1/200)	A.FLK	-
AGC	高	高	高	高	高	-
WHITEバランス	ATW	ATW	ATW	室外	室内	-
逆光補正	OFF	OFF	USER BLC	OFF	OFF	-
SSNR4	ON	ON	ON	ON	ON	-
DAY/NIGHT	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO	-
EXTERNAL SHUTTER	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	-

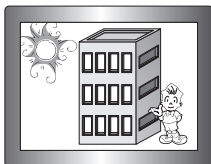
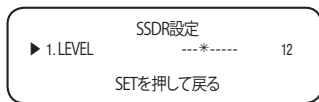


- トラフィック監視モードを選択した場合、シャッターは1/200秒に設定されます。夜間に物音を検知できます。

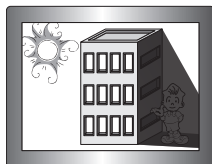
SSDR (Samsungスーパーダイナミックレンジ)

対象物の明るい部分と暗い部分のばらつきが大きい場合、明るい部分は明るいままにし、選択した暗い部分を明るくするため、全体的に明るくなるようにメンテナンスが可能です。

1. 設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使って <SSDR> を選択し、矢印が <SSDR> を指すようにします。
2. 機能設定ボタンを使用して、明るいエリアと暗いエリア間のコントラストに応じてサブメニューでSSDRレベルを変更します。



SSDRオン



SSDRオフ

カメラ動作

WHITE バランス (White Balance)

画面の色を調整する場合は、ホワイトバランス機能を使用します。

1. 設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使って <WHITE バランス> を選択し、矢印が <WHITE バランス> を指すようにします。
2. 左右ボタンを使用して目的のモードを選択します。

メイン設定	
1. プロフィール	ベーシック
2. SSDR	ON
▶ 3. WHITE バランス	ATW

※ 目的に合わせて、次の6つのモードのいずれかを選択します。

- ATW: 色温度が1,800°K~10,500°Kの場合に選択します。
- 室外: 1,800K~10,500Kの色温度の範囲内で使用してください(ナトリウムを含む)。カメラ側の色を屋外環境に最適化させるために自動調節が行われます。
- 室内: 色温度が4,500°K~8,500°Kの場合に選択します。
室内環境に最適化させるために自動調節が行われます。

- MANUAL:
ホワイトバランスを手動で微調整する場合に選択します。まず、ATWモードまたはAWCモードを使用して、ホワイトバランスを設定します。ボタンをMANUALモードにしたら、ホワイトバランスおよび機能設定ボタンを微調整します。

WBマニュアル	
▶ 1. レッドゲイン	--*----- 485
2. ブルーゲイン	--*----- 535
3. 戻る	

- AWC → SET: 照明や画像の変化に関係なく、一定の白バランスを維持する機能で、カメラを白い紙の方に向けて機能設定ボタンを押します。環境が変わった場合は、再調整を行ってください。
- Mercury: これは、水銀灯等の環境でカメラ側の色を最適化する自動補正機能です。



- 次の条件では、ホワイトバランスが適切に機能しないことがあります。その場合は、AWCモードを選択してください

- ① 被写体の周囲環境の色温度が制御範囲外の場合
(例: 快晴、日没)に選択します。
- ② 物体の周囲の照明が薄暗い場合

- カメラが蛍光灯に向いているか、照度が大きく変化する場所に設置されている場合には、ホワイトバランスの動作が不安定になることがあります。

露出補正

1. 設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使って<露出補正>を選択し、矢印が<露出補正>を指すようにします。

2. SETボタンを押します。

3. 4方向ボタンを使用して、任意のモードを選択します。

- BRIGHTNESS: ビデオの明るさを調整します。

- レンズ: この機能を使用して、画面の明るさを調整できます。

- DC: 自動絞りレンズが選択されます。

- アイリス速度: DCレンズの絞り調整速度を調整します。調整速度が極端に遅いか速い場合に、このメニューを使用して調整します。

- Manual: 手動レンズが選択されます。

- Pアイリス: Pアイリス位置を設定します。

- タイプ: 以下の3つのモデルから選択します: SLA-M3180PN、M13VP288IR、SLA-M2890PN

- モード: オートモードまたはマニュアルモードを選択します。

- AUTO: アイリスは、周囲光の量に合わせて自動的に調整されます。

- MANUAL: アイリスを任意の位置に手動で設定します。

- Pアイリス位置: Pアイリスの位置を設定します。

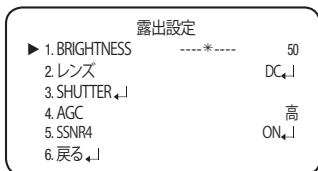
- SHUTTER: シャッターモードを選択できます。

- 最小: 1 ~ 1/12000

- 最大: 1/60 ~ 1/12000

- A.FLK: 画像がちらつく場合に、これを選択します。ちらつきは、設置された光源の周波数との不調和によって発生します。

- EXTERN: カメラの背面にあるシャッター速度選択端子を使用し、外部入力を通してシャッター速度を調整できます。端子と接地端子を接続することで、次の表に示すような目的の速度に調整できます。



カメラ動作

	SHUTTER 1	SHUTTER 2	SHUTTER 3
1/60(1/50)	オフ	オフ	オフ
1/120(1/100)	オン	オフ	オフ
1/250	オフ	オン	オフ
1/500	オン	オン	オフ
1/700	オフ	オフ	オン
1/1000	オン	オフ	オン
1/1600	オフ	オン	オン
1/2500	オン	オン	オン



- シャッター速度が速ければ、その分スクリーンが鮮明になりますが、対象物の残像もその分鮮明になります。
- 最低シャッター速度が速い場合、ノイズ、スポット、白い部分ができる原因となる場合がありますが、引き続き正常に動作します。
- 露出メニューでAGCモードを使用しなかった場合、1/60秒より上は設定できません。
- 最小/最大シャッターの設定値によって、スクリーンの露出は飽和状態になる場合があります。
- 外部入力を使用する場合は、シャッター速度選択端子と接地端子を接続します。
- AGC (OFF/低/中/高): ゲインレベルが高いほど、画面は明るくなりますが、その一方でノイズが増大します。
- SSNR4: この機能を使用すると、光の弱い環境でのバックグラウンドノイズが軽減されます。
 - OFF: SSNR4を無効にしてノイズが減らされないようにします
 - ON: SSNR4を有効にしてノイズを減らします
- ノイズリダクションレベルをSSNR4モードで調整する場合、レベルを高く設定するほど、ノイズレベルが下がり残像が発生します。



逆光補正

このカメラには、逆方向からの光が強い場合も被写体と背景を鮮明に表示できるように、当社独自のW7チップが使用されています。

1. 設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使って<逆光補正>を選択し、矢印が<逆光補正>を指すようにします。
2. カメラの目的に応じて、左右ボタンを使用して任意のモードを選択します。

- USER BLC:

画面内の枠エリアは、可変する事ができます。この時、枠エリア内が最も見やすい画像になる様に自動調整します。

- LEVEL: 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
- 上/下/左/右: 強調するエリアを調整します。
- 戻る: メイン設定メニューへ戻ります。

BLC 設定		
▶ 1. LEVEL		中
2. 上	--*-----	30
3. 下	-----*--	75
4. 左	--*-----	30
5. 右	-----*--	75
6. 戻る<左>		

- HLC (ハイライト補正):

この機能は強い光をマスクすることで、露出オーバーによるホワイトアウトを最小限に抑え、カメラを強い光源に向けたときに画面上のディテールの大部分が保持されるようにします

- LEVEL: 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
- LIMIT: 操作条件を変更できます。
- MASK COLOR / TONE: マスクエリアの色/明るさを変更します。(黒、赤、青、シアン、マゼンタ)
- 上/下/左/右: 強調するエリアを調整します。
- 戻る: メイン設定メニューへ戻ります。

HLC 設定		
▶ 1. LEVEL		中
2. LIMIT		NIGHT ONLY
3. MASK COLOR		黒
4. MASK TONE	--*-----	5
5. 上	--*-----	30
6. 下	-----*--	75
7. 左	--*-----	30
8. 右	-----*--	75
9. 戻る<左>		



- ホワイトバランスメニューをマニュアルに設定した場合、HLCの性能は制限される場合があります。
- Defog機能とHLC機能を同時に使用した場合、明るい環境で飽和状態になる場合があります。
- HLCの効力は、画面内の光の部分の量によって異なる場合がありますため、HLCの性能が最大限になるよう、取り付け角度を最適化してください。
- 暗いとき、HLCが作動するのは、鮮明な光が特定のサイズを超えたときのみです(夜間専用モード)。
- HLCは日中または鮮明な光が夜間になくときには作動しません(夜間専用モード)。

カメラ動作

- WDR: 同時に明るいエリアと暗いエリアが存在する場合に、このモードを使用すると両方のエリアが際立ちます。
 - LEVEL: 低、中、高からひとつを選択し、WDR設定の明るさを調整します。



<WDR オン>



<WDR オフ>



- 戻る: メイン設定メニューへ戻ります。
- WDRモードの場合、最大/最小シャッター速度は1/2~1/240に設定されています。
- WDRでは、明るい領域と暗い領域の間でノイズが発生する場合があります。
- 光の状況によって、不自然な変化や兆候が画面上に発生し、ユーザーモードが作動しなくなる場合があります。

SIMPLE FOCUS

1. 設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使って <SIMPLE FOCUS> を選択し、矢印が <SIMPLE FOCUS> を指すようにします。

2. SETボタンを押します。

3. 4方向ボタンを使用して、任意のモードを選択します。

- SIMPLE FOCUS: 映像のフォーカスを自動的に調整します。
- フォーカス初期化: フォーカスを初期位置 (BFL) へ移動させます。
- MANUAL: レンズフォーカスを手動調整し、画像がよりはっきり見えるようにします。
- AFTER D/N: 日夜スイッチを入れた後、フォーカス再調整機能を使用するかどうか選択します。
- 戻る: メイン設定メニューへ戻ります。



- SIMPLE FOCUS機能は、以下の場合にうまく動作しない場合があります。
 - 照度が低い環境の場合
 - フォーカス調整中にシーンを変更した場合 (突然の移動、出現または消失)
 - フォーカス調整中に明るさを突然変更した場合
 - 対象の前方または近くに強いスポットライトがある場合
- フォーカス調整が難しい環境の場合、マニュアルフォーカス機能を使用してください。

カメラ動作

SPECIAL

1. 設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使って <SPECIAL> を選択し、矢印が <SPECIAL> を指すようにします。
2. SET ボタンを押します。
3. 4方向ボタンを使用して、任意のモードを選択します。

● ディスプレイ

- ① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が <DISPLAY> を指すようにします。

- ② SET ボタンを押します。

- カメラ TITLE

- ① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が <カメラ TITLE> を指すようにします。
- ② 機能設定ボタンを使用して 'ON' に設定します。
- ③ SET ボタンを押します。
- ④ 機能設定ボタンを使用して目的の文字に移動し、機能設定ボタンを押してその文字を選択します。これを繰り返して複数の文字を入力します。最大15文字を入力することができます。
- ⑤ タイトルを入力し、カーソルを 'POS' に移動し、機能設定ボタンを押します。入力したタイトルが画面に表示されます。機能設定ボタンを使用してタイトルを画面に表示する位置を選択し、機能設定ボタンを押します。位置を決定した後、'END' を選択し、機能設定ボタンを押して SPECIAL メニューに戻ります。

スペシャル設定

- | | |
|----------------------|--------|
| ▶ 1. ディスプレイ ◀ | |
| 2. 通信設定 ◀ | |
| 3. IMAGE 機能 ◀ | |
| 4. DAY/NIGHT | AUTO ◀ |
| 5. DEFOG | OFF |
| 6. PRIVACY | OFF |
| 7. デジタル手ブレ補正 | OFF |
| 8. VIDEO ANALYTICS ◀ | |
| 9. 戻る ◀ | |

CAMERA TITLE 設定

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
- . 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

← → CLR POS 終了
■ -----



- カメラTITLEが'OFF'になっている場合は、タイトルを入力しても、モニター画面にタイトルは表示されません。
- また、数字はこのモードで使用できます。
- カーソルをCLRに移動し、機能設定ボタンを押すと、すべての文字が削除されます。文字を編集するには、カーソルを左下向きの矢印に変更し、機能設定ボタンを押します。編集しようとする文字にカーソルを移動し、挿入しようとする文字にカーソルを移動して、機能設定ボタンを押します。

- DISP ID: 画面の左上隅にカメラタイトルを表示します。
- FONT COLOR: OSDのフォントカラーを変更できます。(白、黄色、緑、赤、青)
- LANGUAGE: 必要に応じて、メニューの言語を選択できます。
- 戻る: SPECIALメニューへ戻ります。
- 通信設定 (Communication Adjustment):
外部の制御デバイスを使用してカメラのOSD設定ができます。ここでは通信に必要なパラメーターを設定します。

- ① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が<通信設定>を指すようにします。

- ② SETボタンを押します。

- PROTOCOL:
通信プロトコルを選択します。
(SAMSUNG-T、SAMSUNG-E、PELCO-D、PELCO-P、BOSCH、HONEYWELL、VICON、PANASONIC、AD、およびGE)
- カメラ ID: カメラの識別番号を決定します (0 ~ 255)。
- BAUD RATE: 2400/4800/9600/19200/38400/57600 bpsを選択できます。
- 通信モード: パリティビットとして、NONE、EVEN、またはODDを選択できます。
- データ受信: カメラに通信制御コマンドを送信した後、コントローラデバイスにコマンドを送り返すかどうかを決定します。
- COAX: COAX通信を使用するかどうか選択できます。
- 戻る: SPECIALメニューへ戻ります。

通信調整		
▶ 1. PROTOCOL		SAMSUNG-T
2. カメラ ID	*-----	1
3. BAUD RATE		9600
4. 通信モード		8-N-1
5. データ受信		ON
6. COAX		ON
7. 戻る	⏮	

- IMAGE 機能

- ① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が<IMAGE 機能>を指すようにします。

- ② SETボタンを押します。

- GAMMA: 設定範囲は0.2~1.0です。
設定値が1.0に近くなるほど、暗くなります。
- PED LEVEL: 設定範囲は1~100です。
設定値が100に近くなるほど、PEDレベルは高くなります。

画像設定		
▶ 1. GAMMA		0.45
2. PED LEVEL	----*----	50
3. カラーゲイン	----*----	50
4. H-REV		OFF
5. V-REV		OFF
6. D-ZOOM		OFF
7. SHARPNESS		中
8. PFR		OFF
9. 戻る	⏮	

カメラ動作

- カラーゲイン: 設定範囲は1~100です。設定値が小さくなるほど、カラーゲインも小さくなり、カラーブラインドも増します。
- H-REV: 画像を水平にします。
- V-REV: 画像を垂直にします。
- D-ZOOM: x1~x16のデジタルズームを使用できます。
- SHARPNESS: 画像のシャープネスの密度を調整するモードを選択します。各モードのレベルを増減し、シャープネスのレベルを調整します。画像によって、適切な値に調整します。(OFF/低/中/高)
- PFR: パープルフリンジを除去できます。
- 戻る: SPECIAL メニューへ戻ります。



- V-REVまたはH-REVモードが有効なとき、画面上のテキストは反転しません。
- シャープネスのレベルを最大に増やした場合、写真がゆがみ、ノイズが生じる場合があります。
- PFR機能を使用するとき、強い光の近くに対象物がある場合、色が失われる場合があります。

- DAY/NIGHT: 画像をカラーまたは白黒で表示できます。

① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が <DAY/NIGHT> を指すようにします。

② 希望の画像表示に従い、左右ボタンを使用して任意のモードを選択します。

- AUTO:

このモードは通常的环境では“Color”に切り替えられますが、周囲の照度が低い場合は、“B/W”モードに切り替えます。AUTOモードに関する切替時間を設定するには、機能設定ボタンを押します。

AUTO SETUP	
▶ 1. BURST モード	ON
2. 持続時間	NORMAL
3. 滞留時間	30 秒
4. 戻る	←

- BURST モード: パーストモードを有効または無効にし、カラー信号のメンテナンスまたは除去をします。
- 持続時間: この機能を使用して、切り替えが発生した場所の輝度を選択します。

GAIN LEVEL	低		中		高	
	COLOR → B/W	B/W → COLOR	COLOR → B/W	B/W → COLOR	COLOR → B/W	B/W → COLOR
VERY SLOW	2.4	5.2	1.5	5.6	0.6	6.2
SLOW	2.5	5	1.8	5.4	1.1	6
NORMAL	2.6	4.9	2.1	5.2	1.6	5.8
FAST	2.7	4.8	2.4	5	2.1	5.4
VERY FAST	2.8	4.7	2.7	4.8	2.6	5

※ 取り付け環境と暴露メニューのゲインモード設定により、切り替え輝度は異なる場合があります。

- 滞留時間: 次の中から、DAY/NIGHTの遅延時間を選択できます。
→ 3s, 5s, 7s, 10s, 15s, 20s, 30s, 40s, 60s



- 暴露メニューでAGCモードをOFFに設定した場合、Day/Nightモードを自動的に切り替えることはできません。
- 明るい光源が画面内にあるか、輝度の変化が頻繁なとき、自動night/dayモードを使用し、切り替え時間を短(3~5秒)に設定した場合、ハンチングが起こる場合があります。この状況では、初期設定(30秒)の使用をお勧めします。
- EXTERN: 接地端子に接続すると、COLORとB/Wを外部から切り替えることができます。
- COLOR: 画像は常にカラーで表示されます。
- B/W: 画像は常に白黒で表示されます。B/Wモードのバースト信号をオンまたはオフに設定できます。



- カメラに取り付けたレンズが、<露出補正>メニューの<レンズ>にあるセットと異なる場合、Night/Dayモードは正常に動作しない場合があります。
- DEFOG: Defogモードを使用して、カメラが画面の視界不良度合いを自動的に検知し、スモッグ、霧または一般的な視界不良の場合にも鮮明な画像を表示できます。
 - ① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が<DEFOG>を指すようにします。
 - ② 左右ボタンを使用して目的のモードを選択します。
 - AUTO: レベルを自動的に調整します。
 - Manual: ユーザーが設定したDefogレベルによって、画像の鮮明度を調整します(低、中、高)。
 - OFF: 開放状態

DEFOG MANUAL SETUP

- ▶ 1. LEVEL
2. 戻る ◀

中



- Defogモードを自動的に設定した場合、および霧の量が減った場合、機能レベルも下がります。同一レベルのDefogを維持したい場合、マニュアルに設定します。
- 霧がほとんどなく、マニュアルの霧のレベルが高かった場合、画面のコントラストが高くなる場合があります。

カメラ動作

- PRIVACY:画面上で非表示にするエリアをマスクします。

① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が<PRIVACY>を指すようにします。

② 4方向ボタンを使用して、任意のモードを選択します。

- 領域: PRIVACYエリアは24個まで選択できます

- モード: AREAで選択された領域を使用するかどうかを決定します

- MASK COLOR: エリアカラーを決定します。緑、赤、青、黒、白、灰色を選択できます。

- TRANSPARENCY: MASK領域の透明度を増加または減少させます。

- 位置選択/ 水平位置/ 垂直位置: 選択した領域のサイズと位置を調整します。

- 戻る: SPECIALメニューへ戻ります。

- デジタル手ブレ補正 (Digital Image Stabilizer):

この機能は、風のような外的要因に起因する画像のあらゆる移動を緩和します。

- VIDEO ANALYTICS

① 設定メニュー画面が表示された場合、上下ボタンを使い、矢印が<VIDEO ANALYTICS>を指すようにします。

② SET ボタンを押します。

- TAMPERING:

画像の表示が遮断されたり、カメラの位置が変更になったりした場合や改ざん検知の場合、設定することによりイベント信号を発することができます。

• 感度: 改ざん検知用の感度を設定します。

• ALARM OUT: 検知信号の出力を設定できます。

▪ EXTERNAL: 外部端末を使って信号を送ります。

▪ OSD: 画面に信号を表示します。

▪ 戻る: TAMPERINGメニューへ戻ります。

• 戻る: VIDEO ANALYTICSメニューへ戻ります。

プライバシー領域設定

- | | |
|-----------------|------------|
| ▶ 1.領域 | 領域1 |
| 2.モード | OFF |
| 3.MASK COLOR | GREEN |
| 4. TRANSPARENCY | OFF |
| 5.位置選択 | L_TOP |
| 6.水平位置 | *----- 18 |
| 7.垂直位置 | -*----- 33 |
| 8.戻る↩ | |

VIDEO ANALYTICS

- | | |
|---------------|-----|
| ▶ 1.TAMPERING | OFF |
| 2.動作 | OFF |
| 3.インテリジェンス | OFF |
| 4.戻る↩ | |

TAMPERING

- | | |
|--------------|---|
| ▶ 1.感度 | 中 |
| 2.ALARM OUT↩ | |
| 3.戻る↩ | |



- 下記の場合、最初に設定した改ざん検知機能はうまく作動しない場合があります。
 - 背景が単一であったり、周囲の光のレベルが低かったり、夜間の場合のモニタリング環境では、検知機能が鈍くなる場合があります。
 - 採光による突然の変更や、カメラに対する強い振動により、改ざん検知が誤作動する場合があります。
 - 改ざん直後、カメラの改ざん検知機能は最長5秒かかる場合があります。
 - カメラの改ざんが検知された場合、少し経ってから(5秒)、再起動の後に安定化が行われます。安定化中は、検知できません。

- 動作: この製品は、対象物の動きが画像の4つの領域で検知されるたびに、信号を発生します。これにより、効果的なモニタリングが実現できます。

- DET. SIZE: 画面上で検知する物体のサイズを選択します。

- DET. AREA: モーション検知の領域を設定します。

- SEL AREA: ユーザーの任意の4領域を選択します。

- モード: 選択した領域を使用するかどうか決定します。

- 感度: モーション検知の感度を設定します。レベルが高いほど、感度は上がります。

- 上/下/左/右: 領域の場所を調整できます。

- 戻る: MD 検知 メニューへ戻ります。

- NON DET. AREA: マスク対象の検知例外領域を指定します。MASK領域番号を選択し、サイズと位置を指定します。

- SEL AREA: 領域は4つまで選択できます。

- モード: 領域で選択された領域を使用するかどうかを決定します

- 上/下/左/右: 選択した領域のサイズと位置を調整します。

- 戻る: MD 検知 メニューへ戻ります。

MD 検知	
▶ 1. DET. SIZE ◀	
2. DET. AREA ◀	
3. NON DET. AREA ◀	
4. INDICATOR	OFF
5. ALARM OUT ◀	
6. 戻る ◀	

MOTION DETECT AREA		
▶ 1. SEL AREA	領域1	
2. モード		ON
3. 感度	----*----	5
4. 上	*-----	1
5. 下	-----*	100
6. 左	*-----	1
7. 右	-----*	100
8. 戻る ◀		

カメラ動作

- INDICATOR: 対象物が、ユーザーが設定したパターン内で移動した場合、画面上ではボックスで表示されます。
- ALARM OUT: 対象物の動作が検知された場合、検知信号が出力されます。
 - EXTERNAL: 外部端末経由で信号を送ります。
 - OSD: 画面に信号が表示されます。
 - 戻る: MD 検知 メニューへ戻ります。
- 戻る: VIDEO ANALYTICS メニューへ戻ります。

- インテリジェンス: インテリジェントビデオ検知機能を設定します。

- 感度: モーション検知の感度を設定します。レベルが高いほど、感度は上がります。
- DET. SIZE: 画面上で検知する物体のサイズを選択します。

インテリジェンス		
▶ 1. 感度	----*----	5
2. DET. SIZE ◀		
3. フェンス ◀		
4. APPEAR ◀		
5. INDICATOR		OFF
6. ALARM OUT ◀		
7. 戻る ◀		

• フェンス

- SEL FENCE: フェンスは4つまで選択できます。
- モード: FENCEで選択されたフェンスを使用するかどうかを決定します。
- タイプ: 線型およびエリア型という2種類のフェンスが使用できます。
- ポジション: 物体がエリア型のフェンスに進入および脱出した回数を表示します。

VIRTUAL FENCE		
▶ 1. SEL FENCE		フェンス1
2. モード		OFF
3. タイプ		ライン
4. ポジション ◀		
5. 数える		OFF
6. 戻る ◀		

1) LINE FENCE

- 位置選択: POS1、POS2から位置を選択します。
- 水平位置 / 垂直位置: 選択した線型のフェンスのサイズと位置を調整します。

LINE FENCE		
▶ 1. 位置選択		POS1
2. 水平位置	----*----	50
3. 垂直位置	*-----	1
4. 方向		右
5. 戻る ◀		

- 方向
 - 右: フェンスの線の左から右へ移動する物体を検知します。
 - 左: フェンスの線の右から左へ移動する物体を検知します。
 - 右/左: フェンスの線を横切って移動するすべての物体を検知します。
- 戻る: VIRTUAL FENCE メニューへ戻ります。

2) AREA FENCE

- 位置選択: POS1~POS4から位置を選択します。
- 水平位置 / 垂直位置: 選択した領域のフェンスのサイズと位置を調整します。
- 方向

AREA FENCE		
▶ 1. 位置選択		POS1
2. 水平位置	--*-----	25
3. 垂直位置	--*-----	25
4. 方向		イン
5. 戻る		

- イン: フェンス内の領域に進入する物体を検知します。
 - アウト: フェンス内の領域から脱出する物体を検知します。
 - イン/アウト: フェンス内の領域に進入および脱出するすべての物体を検知します。
 - 戻る: VIRTUAL FENCE メニューへ戻ります。
 - 数える: 物体がフェンスを何回越えたかを画面に表示します。
 - 戻る: インテリジェンス メニューへ戻ります。
 - APPEAR: 画面に登場または画面外に消える物体か、あるいは動かずに画面内にとどまっている物体を検知します。
 - INDICATOR: 物体の移動が、カスタムのモーションタイプと一致した場合は、画面上でボックスを使用してその物体の輪郭を示します
- 下記の場合、表示/インジケータは正しく動作しない場合があります。
- 複数の動作がランダムに発生するとき
 - 固定したものが同じ場所で動き続けているとき
 - 新しい対象物によってもとの対象物に変化があるとき
- ALARM OUT: 対象物の動作が検知された場合、検知信号が出力されます。
 - EXTERNAL: 外部端末を使って信号を送ります。
 - OSD: 画面に信号を表示します。
 - 戻る: インテリジェンス メニューへ戻ります。
 - 戻る: VIDEO ANALYTICS メニューへ戻ります。



カメラ動作



- 使用前に、最大/最小動作サイズを範囲内で設定します。
- 対象物の形によって、サイズ検知にエラーが発生する場合があります。
- 画面の一番上から、最大16の対象物を表示できます。
- カメラで近距離の対象物を撮影した場合、ビデオ分析機能のパフォーマンスが低くなる場合があります。
- 下記の場合、モーション検知またはビデオ分析機能のパフォーマンスが落ちるか、うまく動作しない場合があります。
 - 対象物の輝度または色が背景のものと類似していた場合
 - 画面の端に近いところで動作がほとんどなかった場合
 - 複数の動作が不規則に発生し続けている場合 (例: 場面の転換や、突然の光の変更)
 - 同じ場所に固定されている対象物が動き続けた場合
 - カメラから離れているか、カメラに近づいている場合
画面上で位置の変更がほとんどない。
 - 動作中の対象物がカメラに近づいた場合
 - 任意の物体がそれぞれの物体を互いに遮っている場合
 - 1つ以上の対象物が合わさるか、分かれて複数の対象物になった場合
 - 対象物の動きが速すぎる場合 (連続したフレームの中で、対象物が互いに重なり合って必要がある)
 - 直射日光、複数の光、ヘッドライト等、強い光によって作り出された反射/ぼやけ/影がある場合
 - 激しい雪、雨および風。日没または日の出
 - サイズが最大サイズより大きい場合、または最小サイズより小さい場合、動きは検知されません。ノイズによる誤検知が生じないようにするため、取り付け環境に適した最大/最小検知サイズを設定してください。ただし、同じ場所で同じ動きがあった場合、別の検知サイズとなる場合があります。そのため、最小/最大検知サイズを設定するときは、マージンを入れてください。

戻る

カメラの目的に応じて、機能設定スイッチを使用して目的の戻るモードを選択します。

- 保存: 現在の設定を保存し、MAIN設定メニューを終了します
- 保存なし: 現在の設定を保存せずに、MAIN設定メニューを終了します。
- リセット: カメラを工場出荷時の設定に戻します。(言語、通信およびレンズ設定は同じまま残ります)。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

カメラの動作に問題がある場合は、次の表を参照してください。ガイドラインに従っても問題が解決しない場合は、認定技術者にお問い合わせください。

問題	解決策
画面に何も映らない。	▶ 電源ケーブルと、カメラとモニターの間のライン接続が正しく接続されていることを確認してください。 ▶ BNCケーブルをカメラに正しく接続したことを確認してください。 ▶ レンズはDCまたはPアイリス型にします。
画面に表示される画像が薄暗い。	▶ レンズがほこりで汚れていませんか。柔らかく清潔な布でレンズを掃除してください。 ▶ モニターとDVRの設定を確認してください。 ▶ カメラが非常に強い光に晒されている場合は、カメラの位置を変更してください。
画面に表示される画像が暗い。	▶ モニターのコントラスト機能を調整します。 ▶ 中間デバイスを使用している場合は、75Ω/Hi-z（ハイインピーダンス）を正しく設定します。
カメラが正常に動作せず、カメラの表面が熱くなっている。	▶ カメラを正しい電源に接続していることを確認してください。
DAY/NIGHTメニューが機能しない。	▶ 露出設定メニューのAGCが'OFF'になっていることを確認してください。
インテリジェンス機能が動作しない。	▶ メニューのINTELLIGENCEが'OFF'になっていることを確認してください。
色が正しくない。	▶ WHITE BAL SETUPメニューの設定を確認してください。
画面が継続的にちらつく。	▶ カメラが太陽を向いていないことを確認してください。
同軸通信が使用不可能な場合:	▶ カメラとモニターが推奨距離の範囲内に設置されていることを確認してください。 ▶ 推奨設置距離を上回っている場合は、COAXITRONと同等のビデオアンプを使用してください。
カメラの焦点が合わない。	▶ レンズのズーム/フォーカス調整レバーが正しく調整されていることを確認します。

仕様

仕様

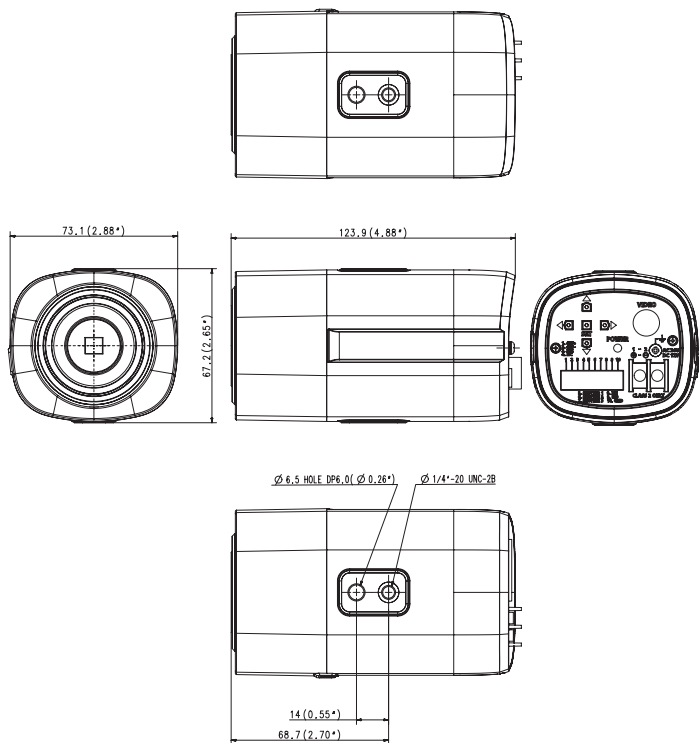
	SCB-5005N
ビデオ	
撮像素子	1/3" 1.3M CMOS
合計画素数	1312(H) x 1069(V)
有効画素数	1305(H) x 1049(V)
走査システム	Progressive Scan
同期	Internal
発信周期	H : 15.734KHz / V : 59.94Hz
水平解像度	カラー : 1000 TVライン 白黒 : 1000 TVライン
最低照度	カラー : 0.03ルクス (F1.2, 50IRE), 0.001ルクス (1秒, F1.2, 50IRE) 0.01ルクス (F1.2, 30IRE), 0.0003ルクス (1秒, F1.2, 30IRE) 白黒 : 0.003ルクス (F1.2, 50IRE), 0.0001ルクス (1秒, F1.2, 50IRE) 0.001ルクス (F1.2, 30IRE), 0.00003ルクス (1秒, F1.2, 30IRE)
S/N比	52dB (AGCオフ、重み付き)
ビデオ出力	CVBS: 1.0Vp-p/75Ωコンポジット
レンズタイプ	
フォーカス調整	SIMPLE FOCUS / MANUAL、ボタンコントロール (MANUAL、SIMPLE FOCUS、DAY/NIGHT)
レンズタイプ	マニュアル / DCオートアイリス / Pアイリス
マウントタイプ	C/CS
操作関連	
画面表示	英語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、韓国語、ドイツ語、イタリア語、中国語、ロシア語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、セルビア語、スウェーデン語、デンマーク語、トルコ語。
カメラタイトル	オフ/オン (15文字表示)
昼/夜	自動 (ICR) / 外部/ カラー/ 白黒
逆光補正	オフ/ユーザー定義BLC/HLC/WDR
ワイドダイナミックレンジ	120dB
ダイナミックレンジ	SSDR (オフ / オン)
デジタルノイズリダクション	SSNR4 (オフ / オン)

	SCB-5005N
Defog	自動 / マニュアル / オフ
パープルフリッジ除去	パープルフリッジ除去 (オフ/低/中/高)
デジタル手ブレ補正	オフ / オン
改ざん	オフ / オン
モーション検知	オフ / オン
インテリジェンス	フェンス、表示_非表示、カウンティング (オフ / オン)
プライバシーマスク	オフ / オン (4点のポリゴンマスクつき、24の設定可能ゾーン)
ゲイン調整	オフ/低/中/高
ホワイトバランス	ATW/屋外/屋内/手動/AWC / MERCURY (1,800K° ~ 10,500K°)
電子シャッター速度	1 秒 ~ 1/12,000 秒
デジタルズーム	オフ / オン (1x ~ 16x)
反転	オフ / H-Rev / V-Rev / HV-Rev
プロフィール	ベーシック, Day & Night, 逆光補正, ITS, Indoor, User
アラーム	1出力
通信	COAXIAL制御 (SPC-300互換) , RS-485
プロトコル	Coax : Pelco-C (Coaxitron) RS-485: Samsung-T, Samsung-E, Pelco-D, Pelco-P, Panasonic, Bosch, Honeywell, Vicon, AD, GE
環境関連	
動作温度/湿度	-10° C ~ +55° C / Less than 90% RH
電力関連	
入力電圧	Dual (24VAC±10% & 12VDC±10%)
消費電力	最大6.0W
メカニカル	
色/材質	黒、シルバー / アルミニウム、プラスチック
寸法 (WxHxD)	73.1 x 67.2 x 123.9mm
重量	300g

※ 製品の性能改善のため、この仕様は予告なく変更されることがあります。

寸法

単位: mm (インチ)



MEMO



販売ネットワーク

SAMSUNG TECHWIN CO., LTD.

6, Pangyo-ro 319beon-gil, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, SEOUL 463-400 Rep. of KOREA

Tel : +82-70-7147-8753, 8764 Fax : +82-31-8018-3740

www.samsungsecurity.com

SAMSUNG TECHWIN AMERICA Inc.

100 Challenger Rd. Suite 700 Ridgefield Park, NJ 07660

Toll Free : +1-877-213-1222 Direct : +1-201-325-6920

Fax : +1-201-373-0124

www.samsung-security.com

SAMSUNG TECHWIN EUROPE LTD.

2nd Floor, No. 5 The Heights, Brooklands, Weybridge, Surrey, KT13 0NY, UK

Tel : +44-1932-82-6700 Fax : +44-1932-82-6701

www.samsungsecurity.co.uk

www.samsungtechwin.com

www.samsungsecurity.com

PT01-002709A

